

助成事業実施報告書

団体名 津久見子ども健やか協議会

代表者・会長 黒木章三

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子ども食堂の実施

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

市内にある4校の小学校校区の地区公民館を借りて、毎月1回第土曜日に開催し、年12回開催することができました。
コロナの影響もあり来場が懸念されたが、テイクアウトすることと、真如苑様の支援もあり、材料の肉(牛肉)を使用したり、作り方も会員で研究し、347食を販売できました。
津久見市は、少子高齢化が県内でも急速に進んでおり、児童・生徒だけでなく、高齢者との交流を含めた事業展開ができるよう努めていきたいと考えている。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

毎月1回、年12回の開催で来場者は89名で、347食の販売ができました。
毎回、献立を考えて食事を提供することは難しいと考えており、当協議会では、カレーライスにこだわり(材料やルー、スパイス等)をもって取り組んでいます。
少しずつではありますが、リピーターも増えつつあり、イベント等にも積極的に参加できるようにしたい。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

貧困家庭の少しでも解消になればとの思いで始めた事業ですが、まだまだ認知不足は否めない状況です。
子どもたちが参加できる方法や広報にもっと力を注いでいくことが必要と考えており、日本文化と伝統に、英会話や国際交流を絡めるなどの事業ができないか検討したいと思っています。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください